News

私に合う機器は？

障害者とメーカーが交流会

テクノエイド協会主催の「障害者自立支援機器シーズ・ニーズマッチング交流会」が3日に都内で開かれた．障害者のニーズと機器を作るメーカーのシーズ（製品化につながる技術）の適合を目指して開いたもので，57メーカーと13障害団体の関係者など425人（使う側244人，作る側181人）が参加した．

会場には開発中の製品や新製品が多く展示され，来場した障害者が試用したり，感想などを伝えたりする姿があちこちで見られた．

関心を集めたのは，スマートフォンやタブレット端末を使った，視覚・聴覚などに障害がある人のコミュニケーション支援機器．特に（株）プラスヴォイスが開発した「聴覚障がい者対応　窓口トータル支援システム」は，同社の通訳センターと結んでモニター遠隔手話通訳サービスを受けたり，音声をその場で文字変換したり，筆談ができるという3方法でコミュニケーションが取れ，高い評価を受けていた．

また，スマイルリンク（株）が開発した，パソコンと3Dプリンターを使って短時間で個々の体型や用途に合わせて自助具を製作できるオーダーメードのシステムにも関心が集まり，作業療法士などの専門職や車いすで来場した障害者など多くの人が見入っていた．

（福祉新聞・第2799号　2017年2月20日）

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2017

2026/11/11 09:32:31